

macaful

らっかるスチーマー MIS-120M

家庭用

100V

800W

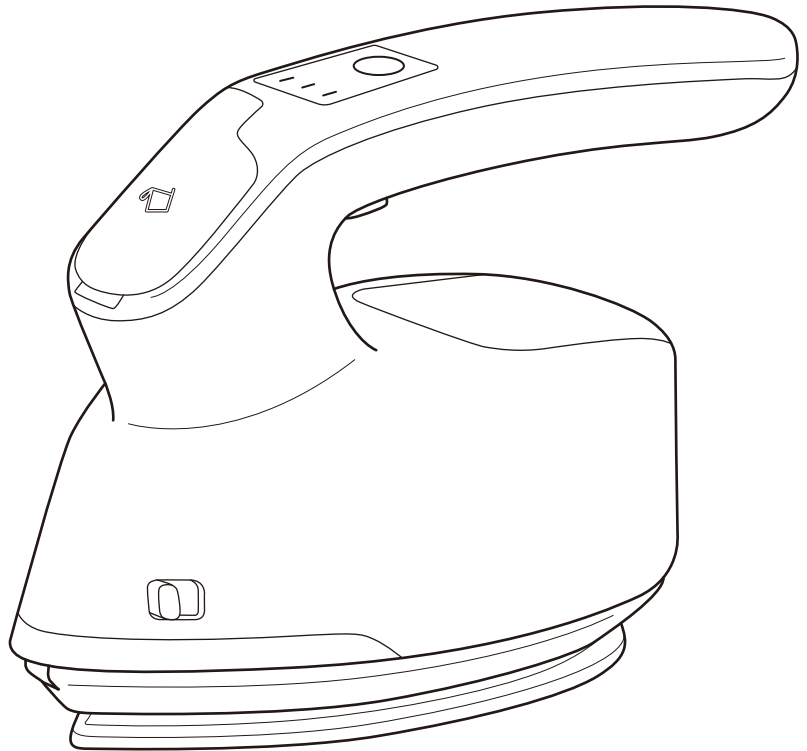
保証書付

取扱説明書

このたびはmacaful らっかるスチーマー MIS-120Mをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書(保証書付)を最後まで必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。お読みになったあと、いつでも必要な時に取り出せるように所定の場所に必ず保管してください。

- 01~04 安全上のご注意
- 05~06 各部の名称
- 07~08 ご使用方法
- 09 お手入れと保管
- 09 故障かな?と思ったら
- 10 仕様
- 10 アフターサービス
- 裏表紙 保証書



⚠ 注意

やけどに注意!

アイロンのかけ面、スチームに触れない。高温によるやけどの原因になります。

スチームを人に向けて噴出しない。

スチームに触れると、やけどの原因になります。



禁止

タンク内部に若干の水 droplet が付着している場合がありますが、スチーム検査を行っているため、異常ではありません。

安全上のご注意 (その1)

ご使用前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

表示と意味は次のとおりです。

⚠ 警告

この表示を無視して間違った取り扱いをすると、使用者や近づいた方が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを表しています。

⚠ 注意

この表示を無視して間違った取り扱いをすると、使用者や近づいた方が障害を負う可能性が想定されること、また物的損害のみの発生が想定されることを表しています。

※物的損害とは、機械、建物、家屋、家財及び家畜、ペットにかかわる拡大損害を示します。

具体的な絵表示には次の意味がありますので、十分に理解してお読みください。



分解禁止

⊘は、禁止(してはいけないこと)を示します。

具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示しています。上図の場合は「分解禁止」を表します。



プラグを抜く

●は、強制(必ずすること)を示します。

具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示しています。上図の場合は「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表します。

⚠ 警告 やけど・けがを防ぐために

異常・故障時にはすぐに使用を中止し、電源プラグを抜く。

- ・電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- ・コゲくさい臭いがする。
- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。

などの症状が出たら、すぐに販売店または当社サービスセンターへ点検・修理を依頼してください。

当社サービスセンター
0120-070-440

詳しくは裏表紙をご覧ください。



必ず行う



プラグを抜く

子供だけで使わせたり、取り扱いに不慣れな方の使用や、幼児の手の届くところで使用しない。

やけど・感電・けがの原因になります。



スチームを人に向けて噴出しない。

スチームに触れると、やけどの原因になります。



⚠ 警告 取り扱い・使い方

絶対に分解・修理を行わない。

または改造しない。

異常動作して感電・発火し、けがの原因になります。



分解禁止

カーテンなどの可燃物の近くで使用しない。

火災の原因になります。



禁止

本体を水につけたり、水をかけたりしない。

ショート・感電の原因になります。



水濡れ禁止

濡れた手でボタンの操作をしない。

感電の原因になります。



濡れ手禁止

⚠ 警告 電源・コード

電源プラグはコンセントの奥まで

しっかり差し込む。

感電・ショート・発火の原因になります。



必ず行う

電源は交流100Vで定格15Aのコンセントを

単独で使う。

他の機器と併用すると、発熱による火災の原因

になります。

電源プラグのほこりなどは定期的に拭き取る。

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁

不良となり、火災の原因になります。



必ず行う

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず

に必ず先端の電源プラグをもって引き抜く。

感電・ショート・故障の原因になります。



必ず行う

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因になります。



濡れ手禁止

使用時以外は、電源プラグを必ずコンセントから抜く。

けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電火災の

原因になります。



プラグを抜く

電源コードや電源プラグが傷んだり、

コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

感電・ショート・発火の原因になります。



禁止

電源プラグにピンやごみを付着させない。

感電・ショート・発火の原因になります。



禁止

電源プラグをなめさせない。特に乳幼児には注意する。

感電・けがの原因になります。



禁止

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、

無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしない。

また、重たいものをのせたり挟み込んだりしない。

電源コードが破損し、感電・ショート・火災の原因

になります。



禁止

電源コードに足などを引っかけない。

けが・故障の原因になります。



禁止

収納時に電源コードを本体に巻き付けない。

やけど・感電・ショートによる火災の原因になり

ます。



禁止

安全上のご注意 (その2)

⚠ 注意 使用場所

風呂場やシャワー室などの
湿気の多い場所でアイロンがけはしない。
火災・感電の原因になります。



風呂・シャワー室
での使用禁止

壁や家具の近くでは使用しない。
熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になり
ます。また、本体の故障・変形や火災の原因に
なります。



禁止

不安定な場所の上では使用しない。
毛足の長い敷物や不安定な所に置くと、転倒し
て敷物の損傷、けが・やけどの原因になります。



禁止

火気(コンロ・ストーブ)の近くやほこりの多い
ところ、水のかかるところでは使用しない。
故障や破損、ショート・発火及び感電・漏電の
原因になります。



禁止

ビニールクロスなど熱に弱い敷物の上や、じゅ
うたん、新聞紙、ダンボールなどや畳の上では
使用しない。
火災の原因になります。



禁止

⚠ 注意 やけど・けがを防ぐために

湿った衣類(霧吹きした衣類)は、ドライでアイロン
がけをする。
スチームでおこなうと湯滴が出て、やけどの原因
になります。



確認

注水や排水の時は、電源プラグを必ずコンセント
から抜く。
感電の原因になります。



必ず行う

熱いスチームに触れない。
やけどの原因になります。



接触禁止

使用中・使用直後は高温部(かけ面)に触れない。
やけどの原因になります。



接触禁止

アイロン・スチームがけ以外の目的で使用しない。
過熱・異常動作による発火・やけどの原因になります。



禁止

着用したままの衣類にアイロンがけ及び、スチー
ムをかけない。
やけどの原因になります。



禁止

本体を傾けたり、前後にはげしく動かさない。
やけどの原因になります。



禁止

⚠ 注意 発火・火災を防ぐために

本体の近くで可燃性ガスなどが発生するものを
使用しない。
火災の原因になります。



禁止

引火性のもの(ガソリン、ベンジン、シンナー)の
近くで使用しない。
ショート・発火することがあります。



禁止

△ 注意 取り扱い

常温の水道水を使用する。

ミネラルウォーター、軟水器の水、アルカリイオン製水器の水、お湯、香料を含んだ水を使うと、水アカがたまったり腐食や故障の原因になります。



必ず行う

アイロンがけしている衣類などが異常に発煙したり発火した場合は、すぐに「電源/切替」ボタンを押して点滅させ、電源プラグを抜く。

火災の原因になります。



必ず行う

衣類などに付いているアイロンマーク(絵表示)を必ず守る。

衣類などのこげ・変質などの原因になります。(絵表示の説明は P.6 をご覧ください。)



必ず行う

水タンクへの注水は「MAX」目盛りまで。

目盛り以上に入れると、使用中に水がこぼれる原因になります。



必ず行う

落下などにより本体が破損した場合は、修理の依頼を行う。

感電事故の原因になります。



必ず行う

お手入れのときは、電源プラグをコンセントから必ず抜いて行う。

感電事故の原因になります。



プラグを抜く

ご使用後は、水タンクの水を抜いて保管する。

水がこぼれたり、次回のご使用時に電源を入れるとスチームや熱湯が吹き出ることがあります。



必ず行う

アイロンを運ぶときは、十分に冷えていることを確認する。

けがや、やけどの原因になります。



必ず行う

業務使用は行わない。

一般家庭用のアイロンです。

ご使用方法を理解せずに不特定多数の方や業務でご使用されることはアイロンの早期故障や重大事故につながります。



禁止

ボタン・ファスナーなどの固いものにアイロンかけはしない。

かけ面の傷付き・コーティングの剥れの原因になります。



禁止

スチーム使用のときは、スプレーのりを使用しない。

かけ面にのりが付着し、アイロンかけがスムーズにできなくなることがあります。



禁止

スチーム穴を布で覆って使用しない。

故障の原因になります。



禁止

熱や湿り気に弱い壁紙の近くではスチームを使用しない。

スチームによりダメージを受ける可能性があります。



禁止

注水の際、水をこぼさない。誤動作の原因になります。

水がこぼれたときは、布で拭き取ってから使用してください。



水濡れ禁止

皮革製品や人工革製品、絹、着物などには使用しない。

スチームにより縮む恐れがあります。



禁止

本体や水タンクの外側に水がついた状態で使用しない。

ショート・感電の原因になります。



禁止

スチームはかけ面を上向きにして使用しない。

スチームボタンを押してもスチームが出なくなる場合があります。



禁止

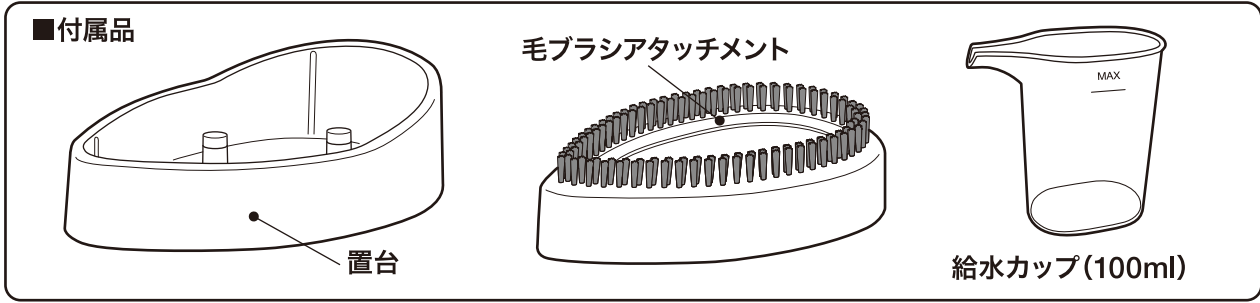
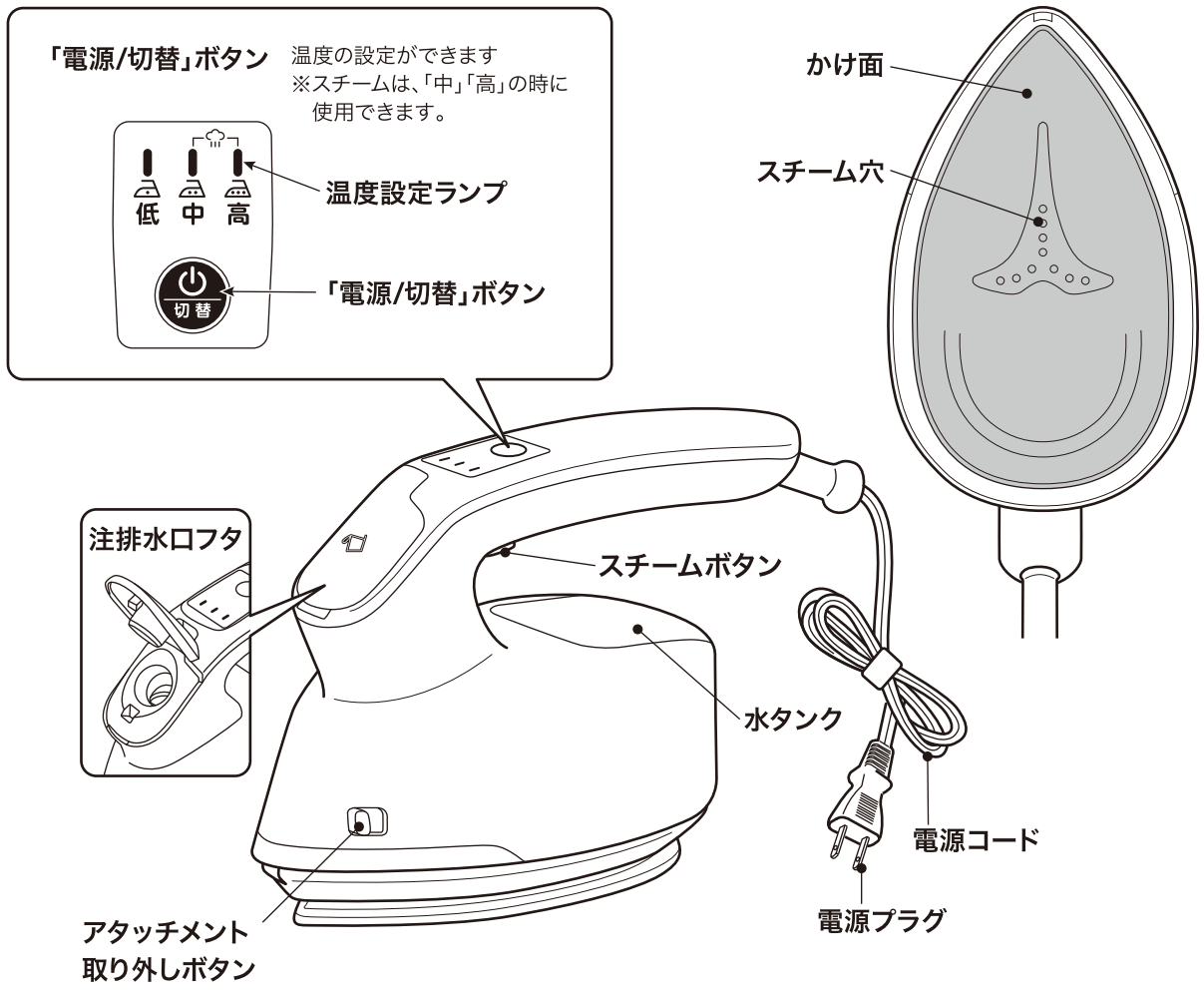
使用中の本体を置き台に置く時は横向きに置かない。

変形・傷の原因になります。



禁止

各部の名称



オートオフについて

●かけ面オートオフ
 温度を設定した状態で何も押さずに『約8分間』経つと、自動的に電源OFFになります。電源がOFFになった後、続けて使用する場合は、「電源/切替」ボタンを押して温度を設定してください。

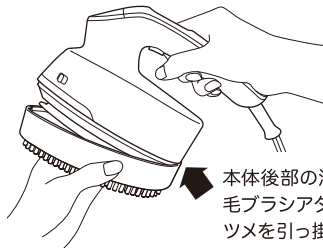
●スチームオートオフ
 スチームを出した状態で『約1分間』経つと、自動でスチームが停止します。再度スチームを使用する場合は、スチームボタンを長押ししてください。
 ※スチームを途中で止める場合は、スチームボタンを短押ししてください。

毛ブラシアタッチメント/置台

毛ブラシアタッチメントの使い方

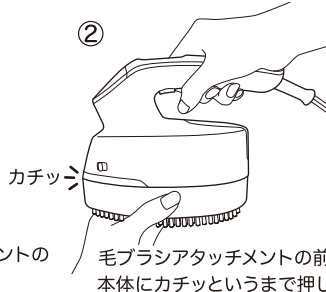
衣類についた糸くず、綿ほこり、髪の毛などを取り払いたいときに使用します。

①取り付け



本体後部の溝に
毛ブラシアタッチメントの
ツメを引っ掛ける

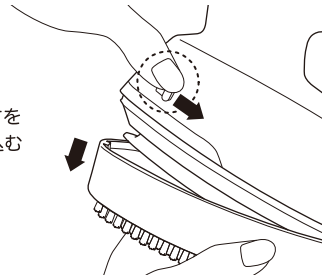
②



毛ブラシアタッチメントの前方を
本体にカチッというまで押し込む

③取り外し

アタッチメント取り外しボタンを
後方側に押しながら、
毛ブラシアタッチメント前方を下に下げる



置台の使い方



ご使用途中は置き台としてご
使用ください。毛ブラシアッ
チメントを装着した状態でも
置くことができます。

⚠注意

毛ブラシアタッチメントの着脱は、必ずかけ面
が冷えた状態で行ってください。やけどの原因
になります。

温度設定の仕方

温度設定位置		低	中	高
かけ面の温度		約100℃	約135℃	約165℃
絵表示	新表示			
	旧表示			
衣類・布地の種類		アクリル・アクリル系 ポリウレタン ポリプロピレン	絹・毛・ナイロン ビニロン・レーヨン キュプラ・アセテート ポリエステル	綿・麻 ポリノジック
スチーム		×	○	○
立ち上がり時間		25秒	35秒	35秒

絵表示の見かた



アイロンかけ
禁止です。

※スチームは「中」より
「高」の方がよりパワフル
に出続けます。

⚠注意

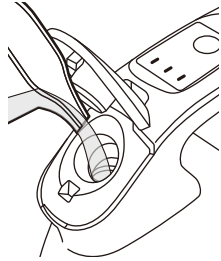
- おかけになる布地に日本産業規格「JIS」で定められた絵表示がある場合は、その絵表示に従い「電源/切替」ボタンで温度設定を合わせてください。
- 絵表示がない場合は、おかけになる布地に合った温度設定に合わせてください。混紡の場合は、低い方の繊維温度に合わせてください。
- 低温・中温および熱に弱い布地には「あて布」をするか「ためしかけ」をしてください。布地のテカリを防止するには「あて布」をしてください。
- 布地に合った温度設定でアイロンかけをしても、布の上で止めたり、極端にゆっくり動かしたりすると布地をいためる事がありますので注意してください。

ご使用方法

1 水タンクに給水する(スチームを使用する場合)

- 1 注排水口フタを開き、付属の給水カップで水をゆっくり入れます。

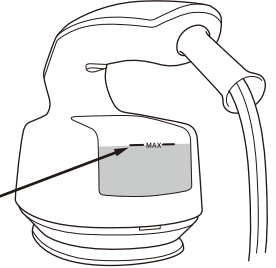
※電源プラグをコンセントに差し込む前に水を注水してください。



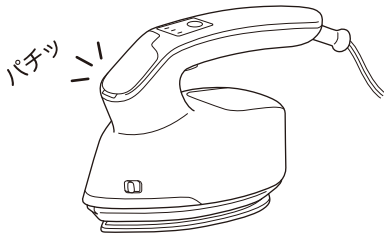
- 2 水の量は水タンクのMAX目盛りを超えないようにしてください。

※目盛り以上に水を入れると、使用中に水がこぼれる原因になります。

最大ここまで



- 3 給水が終わったら、注排水口フタを確実に閉めます。

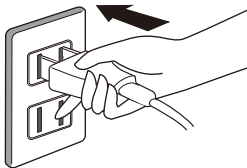


⚠ 注意

- 常温の水道水を使用してください。
次の水は入れないでください。ミネラルウォーター、軟水器の水、アルカリイオン製水器の水、お湯、香料を含んだ水など。
- 水タンクに水を入れる際は、必ず付属の給水カップをご使用ください。
直接、水道から水を入れると水があふれ、製品内に入り感電・故障・ショートの原因になります。

2 温度設定をする

- 1 本体を置台にのせた状態で電源コードをほどこ、電源プラグを正しく配線された交流100Vのコンセントに根元までしっかりと差し込みます。
「電源/切替」ボタンが点滅します。



- 2 「電源/切替」ボタンを押して、温度を設定すると設定した温度設定ランプが点滅します。スチームを使用する場合は、「中」または「高」に設定します。「中」より「高」が、より多くのスチームがでます。



3 スチームがけ・アイロンがけをする

スチームがけの場合

温度設定ランプが点滅(赤色)から点灯(緑色)に変わったら使用できます。

スチームボタンを長押し(約1秒)するとスチームが連続して出ます。
スチームが出始めたら、スチームボタンから手を離してもスチームは出続けます。

スチームを止める場合は、スチームボタンを短押しするか、
スチーム開始1分後に自動でスチームが停止します。
再度スチームを使用する場合は、スチームボタンを長押しします。

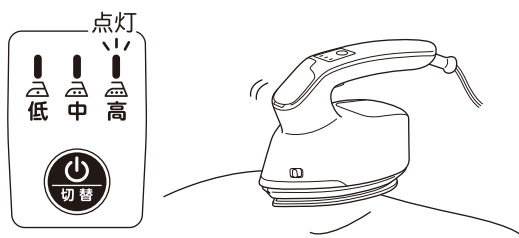
- ※スチーム使用中に振動がしますが、異常ではありません。ポンプの動作音です。
- ※スチーム使用中にタンクの水がなくなると、カタカタとポンプの音がします。(異常ではありません) スチームを止めて水タンクに水を入れてください。
- ※スチーム使用時に白い粉が出るがありますが、水に含まれる鉱物質などが出るもので異常ではありません。白い粉が衣類についた場合、払うと取れます。
- ※スチームはかけ面を上向きにして使用しないでください。



アイロンがけ(ドライ)の場合

スチームボタンを押さずに使用する。
ドライアイロンとしてご使用いただけます。

温度設定ランプが点滅(赤色)から点灯(緑色)に
変わったら使用できます。



△ 注意

- 高級品や特殊加工品などには目立たない所に試しがけをあて布をする。
衣類を傷める原因になります。
- 置台に置くときは、必ずスチームを止めてください。
けが・やけど・故障の原因になります。



必ず行う

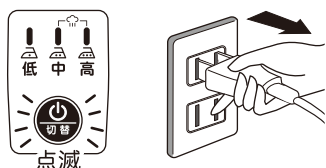


必ず行う

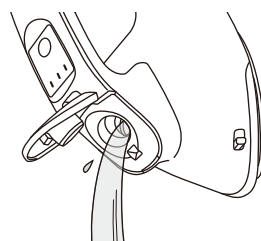


4 使用後

1 スチームが停止した状態で、「電源/切替」ボタンを押して「電源/切替」ボタンを点滅の状態にします。電源プラグをコンセントから抜き、電源コードを束ねます。



2 かけ面が冷えるまで待ち、かけ面が冷えたら水タンク内に残った水を捨てます。



お手入れと保管

本体のお手入れ

- 金属製のたわしやナイロンたわし、シンナー、ベンジン、化学ぞうきん、アルカリ性洗剤、磨き粉などは使用しない。傷や表面加工が剥がれる原因になります。
- 本体・かけ面の汚れは、やわらかい布などで拭いてください。かけ面の落ちにくい汚れは、中性洗剤か水をふくませた布で拭き取り、最後にから拭きをしてください。
- スチーム穴のつまりは、つま楊枝などで取り除いてください。目安は3、4ヶ月に1回です。



保管

※保管する前に、必ずお手入れを行い、十分に乾燥させてください。



必ず行う

- 保管の際は、商品の入っていた箱に収めてください。箱がない場合はポリ袋等に収めて、湿気の少ないところに保管してください。
- 保管時は上に物をのせたりしないでください。
- コードは束ねて保管してください。

故障かな?と思ったら

次のようなときは、故障ではない場合がありますので、表を見ながらもう一度お調べください。

症状 調べる ところ	熱く ならな い	かけ 面が 出な い	スチ ーム が	かけ 面の 腐食	スチ ーム 穴の つまり	滑ら ない	かけ 面が	布地 が こげ たり 、縮 む	出 た り 、 ニ オ が 出 る	スチ ーム 噴 出 が 止 ま る	原因・処置
電源プラグ	●		●								電源プラグは根元まで差し込まれていますか? 処置 電源プラグをコンセントに確実に差し込み直してください。
電源・切替 ボタン	●		●								適切な設定になっていますか? 処置 設定表示を再度確認してください。 温度設定が低になっていませんか? 処置 温度設定を「中」か「高」に設定してください。
スチーム ボタン			●								スチームが自動停止していませんか? 処置 再度スチームボタンを押してください。 水タンクに水が入っていますか? 処置 水タンクに水を入れてからスチームを使用してください。
使い方			●								かけ面を上向きにして使用していませんか? かけ面を上向きにすると水タンクの水が正しく供給されません。
スチーム穴			●		●						スチーム穴のお手入れをされていますか? 処置 9ページの「本体のお手入れ」を見て清掃してください。
使用後の 排水									●		前回ご使用時の水が残っていませんか? 処置 使用後は必ず水を捨ててください。
かけ面						●					かけ面に何か付着していませんか? 処置 9ページの「本体のお手入れ」を見て清掃してください。
									●		水に含まれる鉱物質などが出るためで異常ではありません。 白い粉が衣類についた場合、払うと取れます。
繊維製品の 絵表示								●			布地に適した温度設定になっていますか? 処置 適温に合わせ直すか、あて布をしてください。

※以上の事を調べいただき、それでも直らない場合は、ご自分で修理なさらず、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

詳しくは、P.10「アフターサービス」をご参照ください。

仕様

定 格	100V-800W 50/60Hz	水タンク容量	約120ml
寸 法	約幅188×奥行92×高さ124mm	電 源 コード	約3.0m
置台設置時	約幅195×奥行108×高さ149mm	温度過昇防止装置	温度ヒューズ240°C
質 量	約530g(本体のみ、電源コード含まない)	付 属 品	置台、毛ブラシアタッチメント、 給水カップ 各1個
温度設定	低(約100°C)中(約135°C)高(約165°C)		

アフターサービス

- ① この取扱説明書には保証書が付いています。お買上げの際に販売店より必ず保証欄の「お買上げ年月日」と「販売店印」の記入をお受けください。
- ② 保証期間はお買上げ日より1年です。その他詳細は保証書をご覧ください。
- ③ 保証期間経過後の修理について、修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理を致します。詳しくはお買上げの販売店にご相談ください。
- ④ 本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後5年です。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

※修理の部品は部品共有化のため、一部仕様や外観色を変更することがあります。

サービスセンター(製品の使い方や修理などに関するお問合せ)	
TEL: 0120-070-440	[受付時間] 10:00~12:00・13:00~17:00 (土曜、日曜、祝日、当社休業日を除く)
〒601-8347 京都府京都市南区吉祥院観音堂南町1番57号(電響社サービスセンター) FAX:075-681-0886	

★個人情報の取り扱いについて

株式会社電響社は、お客様よりご提供いただいた個人情報について、適正な管理を行い、修理業務を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、お客様の同意が無い限り、第三者への開示または提供は致しません。

長年ご愛用のらっかるスチーマーの点検を! このような症状はありませんか




- 電源プラグやコードが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- 本体に触れるとビリビリと電気を感じる。
- その他の異常、故障がある。



このようなときは、ご使用中を中止してください。事故防止のため、必ず販売店に点検修理をご相談ください。

 株式会社 電響社

サービスセンター（製品の使い方や修理などに関するお問合せ）

:0120-070-440 [受付時間] 10:00~12:00・13:00~17:00
(土曜、日曜、祝日、当社休業日を除く)

住所:〒601-8347 京都府京都市南区吉祥院観音堂南町1番57号(電響社サービスセンター) FAX:075-681-0886